

暮らしの情報ページは主に公共機関などからのお知らせを掲載します。問い合わせや申し込みなどは➡の記号で表示します。
市役所の代表電話番号は☎042-953-1111です。

暮らしの情報ページ



水富地区
住居表示整備事業

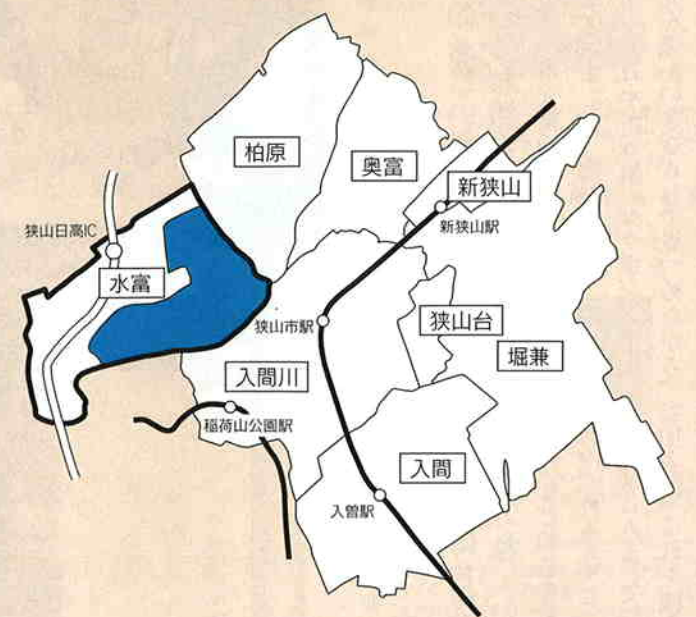
市では、水富地区の概ね市街化区域(約380ヘクタール)について、住居表示の実施に向けて作業を進めています。

今回の実施予定区域については、地元からの要望および市長の諮問機関である狭山市住居表示整備審議会の答申を踏まえ、今年12月に開催される市議会へ、議案として上程する予定です。

現在、実施に向けての具体的な取り組みとして、水富地区各自治会からの代表者20名で構成する「住居表示検討会」により、新しい町の区域や名称などについて検討を進めています。

実施にあたっては、対象面積が広いことから
4期程度に分け、平成11年度から順次整備して
いく予定です。

太線内…水富地区
 ■…該当区域



●問い合わせ都市計画課へ内線790

分かりやすい住所の表示をめざして

介護保険 Q & A

Q 介護保険制度のポイントは
何ですか。

A ポイントとしては、次のことがあげられます。

①利用者が自由にサービスを選択し、利用することができます

②介護が必要なかたに、必要な福祉サービスと保健医療サービスを総合的に提供します

③多様な事業主体の参入を促進し、画一的でなく多様で効率的なサービスを提供します

④老人病院などから、長期療養にふさわしい環境を備えた療養型病床群への転換を促進します

⑤介護部分を医療保険から切り離し、医療について治療という目的にふさわしい改革をします

⑥老人福祉と老人医療に分立していることに伴う利用者負担の不均衡を是正し、介護を主たるニーズとして、長期に一般病院などに入院している、いわゆる社会的入院を解消します

⑦高齢者自身を被保険者として、保険料を負担していただきます

⑧介護サービスに定率1割負担を導入し、施設入所の場合には食費も負担していただきます

⑨現在医療保険では認められていない、
保険の対象となるサービスとそれ以外の
サービスとの組み合わせができます

⑩保険給付にあたっては、要介護認定基準による全国公平な給付要件の確認を行います

●問い合わせ高齢者福祉課へ内線164

市内で交通死亡事故多発！

市内では、交通死亡事故が多発しており、今年の1月から現在までに7名の尊い命が奪われています。また、人身事故、物損事故についても増加の傾向があり、いつ死亡事故につながってもおかしくない状況にあります。

このような中、毎年10月から12月にかけて、特に人身事故が多発しています。

スクールゾーン時間規制を
ご存じですか

狭山市では、児童等の安全確保を目的に、スクールゾーン時間規制が10校区29路線に引かれています。時間帯は7時30分～8時30分の1時間です。この時間帯は特に慌ただしい時ですが、趣旨を十分ご理解いただき交通ルールを守りましょう。なお、地域に居住されているかた、会社などに隣接されているかた、会社などに隣接されている路線をやむを得ず通行せざるを得ないかたには、最短距離での「通行禁止道路通行許可証」の交付も受けられますので、ご相談ください。

主な事故の原因として、自動車はわき見運転、一時不停止、速度超過など、自転車は一時不停止、信号無視、夜間の無灯火など、歩行者は飛び出し、車の直前直後の横断などの無謀横断があげられます。

皆さんが、交通事故の被害者にも

加害者にもならないためには、交通ルールを守り、思いやりのある行動をとることはもちろん、危険を予測して行動することが大切です。決して交通事故は他人事ではありません。自分や家族の誰かが交通事故に絶対遭わないという保証はないのです。日ごろから交通安全に関心を持ち、家族で話し合うなど、みんなで交通事故防止に努めましょう。

平成9年中に市内で発生した9件の死亡事故の傾向を見ると、65歳以上の高齢者が死亡する事故、自転車上の高齢者が死亡する事故、自転車と関係する事故、シートベルト未着用と思われる事故が多くなっています。このため、市では次の3つを柱として交通事故防止に取り組んでいます。皆さんもこの3点を守り、交通安全にご協力ください。

全にぞ協力ください。

- 1 子どもと高齢者の事故防
- 2 自転車の事故防止
- 3 シートベルト着用の徹底

合 計			10～12月			7 ～ 9月			4 ～ 6月			1 ～ 3月			
傷者	死者	人身事故	傷者	死者	人身事故	傷者	死者	人身事故	傷者	死者	人身事故	傷者	死者	人身事故	
9 5 1	11	7 9 8	2 9 1	2	2 4 6	2 4 2	1	2 0 3	2 2 5	5	1 9 4	1 9 3	3	1 5 5	平成7年
1 千 78	8	8 6 6	2 6 5	3	2 1 4	2 6 5	1	2 1 7	2 5 8	3	2 0 7	2 9 0	1	2 2 8	平成8年
1 千 1 5 1	9	9 4 4	3 2 9	1	2 6 5	2 5 2	3	2 0 9	2 8 3	1	2 4 2	2 8 7	4	2 2 8	平成9年

◆市内過去3年間の人身事故発生件数

●問い合わせ交通防災課へ内線223